様式第１号

令和４年度　学校経営計画書

学校番号	107	学 校 名	静岡県立御殿場特別支援学校	校 長 名	伊藤　聖子

１　目指す学校像

(1) 教育目標

「学びあい　ともに輝き　未来を創る」

個々の特性や発達段階に応じて、それぞれの可能性を最大限に広げるとともに、社会参加や自立に必要な知識・技能・態度の育成を図り、一人一人の自己実現を支援する。

(2) 目標具現化の柱

ア　児童生徒が主体的に学びあい、生きる力を育む授業づくりを実践する。(**学び**を保障する力)

イ　安全・安心な学校を築き、児童生徒の豊かな心と健康な体を育む。

(命を守る、人を大切にする**健康**力・**安全**力)

ウ　センター的機能を活用し、家庭・地域と共に歩む学校づくりを進める。

(これまでも、これからもつながる**連携**力)

エ　「チーム御特」で職務改善に取り組み、専門性向上に努める

(３つの柱を推進するための業務改善を進める**チーム御特**力)

２　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）　キーワード（磨く）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**小中高 12 年間のつながりを見える化**	・キャリア教育の理解啓発 ・作成目的、方法の周知 ・小中高の活用紹介 ・学部間交流	・キャリアパスポート作成の意味を理解し、活用できている。	進路指導課 学部学年 主事会
	主体的・対話的で深い学びのある授業づくり	・助言者招聘研修を実施する。 ・一人一授業研を通して、事例検討を行い、授業における児童生徒の学びを評価し、次時につなげる授業改善に取り組む。 ・他校の研修会や学習会での学びを伝える。 ※ＩＣＴ機器の活用については、情報教育課と一緒に考える。 ・指定研究での実践を伝える。 ・ICT 機器の機能についての研修を行う ・ICT 機器を活用した実践を紹介する	・授業評価による児童生徒の「みとり」を授業改善に活かしている。 ・児童生徒の実態に合った ICT 機器やアプリ等を選択し、授業の中で効果的に活用している。	研修課 情報教育課 学部学年
	専門性の向上（実態把握、支援方法）	・外部講師による個別指導学習会（PT、ST、OT、摂食、事例検討会､アセスメントの活用） ・校内実践事例を紹介 ・掲示板を活用した、自立活動教材の紹介 ・研修会の案内、自立活動図書の紹介	・学習会の内容・教材の紹介等が指導やアセスメントの活用に活きている。	自立活動課 学部学年
	命を守る安全教育	・避難訓練（火災２回、地震２回、富士山噴火１回） ・まなぼうさいの実践	・防災力を高める（常にバージョンアップ）緊急時には被災想定を踏まえた（自分の）行動の準備ができている。 ・校外学習での災害を想定した対応を学部・学年で共通理解している。	安全課 危機管理委員会 学部学年 事務室

様式第１号

	命を守る安全教育	・情報モラル教育の授業実践(高等部２回) ・緊急時対応訓練（医ケア対象）（学年授業時の想定、プール指導時の想定） ・医ケア基本研修（希望者） ・体育器具、用具の安全点検	・生徒はスマホ等の使い方のマナーを身につけ、安全に生活できている。 ・対応の仕方を確認し、実際の場面に備えることができている。 ・医ケア児童生徒の理解ができている。 ・体育器具等の安全管理は常に徹底されており、安心して体育の授業ができている。 ・体育器具等の安全管理は常に徹底されており、安心して体育の授業ができている。	生徒指導課 高等部 保健体育課
	人を大切にする心と体の教育	・道徳授業実践 ・人権教育研修会 ・人権標語の提案、周知（毎月）の工夫	・道徳授業の実践資料（一覧）を作成できた。 ・児童生徒の手本となって人を大切にする「あいさつ」や「言葉かけ」、「態度」等を心掛けて行動している。	学部学年 主事会 道徳科 生徒指導課
		・生活年齢・発達段階に応じた保健指導（性教育を含む）の実践 ・栄養教諭と連携した授業実践（各学年１回）	・生活年齢・発達段階に応じた保健指導（性教育を含む）を実践できている。 ・児童生徒は、食べることへの意欲を高め、献立や食品、地域の産物に対する興味関心を広げている。	保健体育課 学部学年 給食委員会
		・校内展示充実 ・学部・学年での参観を工夫	・児童生徒が自分の作品や他者の作品を見たり、感想を発表したりする等、図工・美術への興味を高める機会になっている。	学習指導課 学部学年
ウ	社会に開かれた学校づくり	・地域とつながる授業実践 ・学校運営協議会を活用した発信と共有	・地域資源を活用した授業や地域の人と一緒に取組む活動が充実している。	学校運営協議会 企画会 （副校長） 学部学年
	共生教育の充実	・交流教育の実施 （小　間接交流１回、 中２回、高１回） ・学校紹介ビデオの活用 ・交流籍の推進（小中学部）	・児童生徒が交流で友達に会うことを楽しみにしている。 ・交流籍を通して児童生徒が地域の友達とのつながりが深まっている。	学部学年 連携課 学部学年 連携課
	地域への役割の充実	・近隣市町での特別支援教育研修会と協働したエリアサポートの充実 ・校内サポート（コーディネーター） ・学校 HP に、コーディネーター便りのコーナーを設置、掲載	・中学校、高等学校からの依頼に応じ必要なサポートができている。（強化） ・児童生徒と福祉や SC とを結ぶ等、校内での支援は充実している。（強化） ・HP や学校紹介ビデオを活用して、センター的機能の情報発信ができている	連携課 進路指導課 連携課 情報教育課
エ	**教職員が児童生徒、自分の生活や家族を守るコンプライアンス意識の向上**	・風通しのよい職場づくりのための職員の交流活動(年３回) ・県の指針を受けた不祥事根研修（３回）	・職場の雰囲気の構築 （雑談で雰囲気向上を！） 自分のことを相談したり、雑談したりして会話を楽しむ職場の雰囲気が構築されている。 ・飲酒運転０　個人情報漏洩０ 体罰０　スクールセクハラ０	企画会（副校長） コンプライアンス委員会
	「学び続ける教職員」の育成	・キャリア研修等を活かした OJT（ペア設定、希望性）により、学び合う環境を作る ・ミニ学習会（学部）	・OJT やミニ学習会で学んだことを、指導や支援等に活かすことができている。	主事会（教頭） 学部